細枠内:事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。

太枠内:インターネット申請画面(Googleフォーム)で実際にご入力いただく項目です。

※事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、「海と日本PROJECT 助成事業申請ガイド」

の「2.対象となる事業の内容(審査の視点)」「4.期待するアクション」をご参照ください。 ご申請いただいた事業において、海と日本PROJECT助成事業申請ガイドの内容がどれだけ満たされているか総合的に判断し、審査を行います。

⑤申請準備ワークシート(記入例)



事業名:事業内容を端的に表してください。

※「海と日本PROJECT 助成事業」の場合には事業名末尾(海と日本2023)と入力してください。

※ () は全角です。

(例) 白浜海岸プラごみ削減プロジェクト (海と日本2023)

海洋アートによる海洋問題意識向上企画(海と日本2023)

①取り組みたい課題

(現状はどうなっているのか?)

各地域には海の課題が存在するが、それを意識し行動に 移す人は少ない現状がある。

特に海洋ごみ海洋汚染や海に生きる海洋生物の生態系に さまざまな影響を及ぼすことから、世界的な問題となっている。

海洋ごみの約8割が陸から流れ出たものであるが、自身の 生活に直接的に影響がないため、個人が海の問題を意識 し行動に移すことが難しい状況にある。内陸部では海を 直接見る機会も少ないため、臨海部よりも意識の上昇は 困難である場合が多い。

②原因と解決策

(どういった論理で、事業内容を考えたか?)

<原因>

・多くの人が関わる問題であるにも関わらず、問題を意 識し行動に移す人が少ない

・海に興味を持つきっかけがあまりない

<解決策>

・これまで海の問題を意識する機会のなかった人たち へ、アートを入り口にして、海洋問題を知ってもらう きっかけを提供する

・学校等と密に連携することで、不特定多数の参加者を 巻き込む

⑤事業目的(Googleフォームの入力項目番号57)

(中長期的、最終的にどうなってほしいか?)

<最終目的>

アートを通じて今まで海と関わりのなかった分野の人々を巻き込み、参加者層を拡大することで、子供を中心としたより多様な人々が海に関心を持つようにする。海ごみなどの海の課題に対し、アクションを起こす人々が増え、より多様な分野の人々が関わり、継続的に事業が運営されることを目的とする。

<中長期 ※3年後>

海洋アートを通じて、より多様な人々や子供が海の課題に関心を 持つようになる。

以下の2点について、社会的背景や解決したい課題を踏まえて270文字以内で記入してください。

- 1. 本事業の実施によって団体が実現しようとすること
- 2. 本事業の実施によって期待される波及効果

③事業内容(Googleフォームの入力項目番号59)

(助成事業の活動)

- 1. 商店街での海洋アートの展示
- (1) 時期:2023年7月~2024年1月(計2回)
- (2)場所:北海道石狩郡新篠津村
- (3) 来場者: 20,000名(商店街利用者、観光客など)
- (4)内容:アーティスト10名とコラボし、「海の課題」をテーマとした海洋アートを展示
- 2. 子ども向け海洋アート教室の開催
- (1) 時期:2023年7月~8月(計2回)
- (2) 場所:北海道札幌市、北海道富良野市
- (3)参加者:計60名(地元小学校3~6年生)
- (4) 内容: 事業1でコラボしたアーティストによる海洋アート教室
- 3. 子ども海洋アート大使の活動
- (1) 時期:2023年7月~2024年1月
- (2)場所:北海道石狩郡新篠津村
- (3) 内容: 事業1に係る作品紹介パネルの作成、作品案内等の活動
- 4. 海洋アート調査レポートの作成
- (1) 内容:海洋アートを通じた海の課題への意識づけ効果について調査
- (2) ターゲット層:アートに興味を持つ人、海に興味を持つ人
- (3) 調査時期:2024年1月
- 5. ウェブページの作成
- (1) 内容:海洋アートの特集、イベント紹介など
- (2) ターゲット層: アートに興味を持つ人、海に興味を持つ人
- (3) 公開期間:2023年6月~

④事業目標(Googleフォームの入力項目番号58)

(単年度の事業の成果を、何の指標で測り、どこまで達成したいか?)

- 1. 商店街での海洋アートの展示
- ・アーティスト10人以上とのコラボ
- ・夏と冬計2か月間の展示を通じて、来場者20,000人以上
- 2. 子ども向け海洋アート教室の実施、子ども海洋アート大使の活動
- ・海への関心度上昇 80%以上(参加者アンケートにて調査)
- ・参加者の満足度 80%以上(参加者アンケートにて調査)
- ・地元小学校との連携2校以上
- ・メディアによるイベントの記事化3記事以上、放映2局以上
- 3. 子ども海洋アート大使の活動
- ・海への関心度上昇 80%以上(参加者アンケートにて調査)
- ・参加者の満足度 80%以上(参加者アンケートにて調査)
- ・地元小学校との連携2校以上
- ・メディアによるイベントの記事化3記事以上、放映2局以上
- 4. 海洋アート調査レポートの作成
- ・PV数:10,000以上
- ・他メディアへの転載2つ以上
- 5. ウェブページの作成
- ・PV数:40,000以上

助成金を使って行う事業・活動の内容を700文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、記入例をご参照のうえ、必要項目すべてについて記入してください。具体的な数字も含めて記入してください。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。

1、2、a、bなどの英数字は**半角**で、「. 」「~」「:」「()」などの記号は**全** 角でご記入ください。

文字数制限(スペース含む)

③事業内容:700文字④事業目標:700文字⑤事業目的:270文字520 ←自動的にカウントされます395 ←自動的にカウントされます196 ←自動的にカウントされます

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の2点を明確に700文字以内で記入してください。

(1) 1年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういう状態にするのか? 例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化

(2) (1) の事業成果を測定する際の根拠

(どのように確認するのか? 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定